

～ 臼杵市認知症 学ブック ～

**★その3**  
**認知症の方への**  
**具体的な接し方！の巻**

いろいろな場面での接し方  
を紹介します。  
認知症の特質をうまく利用  
しましょう！

博士、認知症についての基本は大体わかったけど、認知症の人には、実際にどのように接すればいいの？



認知症になった人が望む暮らし、それは、「**普通の暮らし**」なんじゃ。そして、自身のプライドも、**幸せに暮らしたい、自分らしく生きたい**という思いも、みんなと変わらないんじゃ。つまり、**自分でできることは自分でしたい**。でも、**できないことは助けてほしい**と思っておる。

であるから、家族や見守る人は、見極めが難しいと思うが、「**適度なお世話**」を心がけることじゃ。具体的には・・・

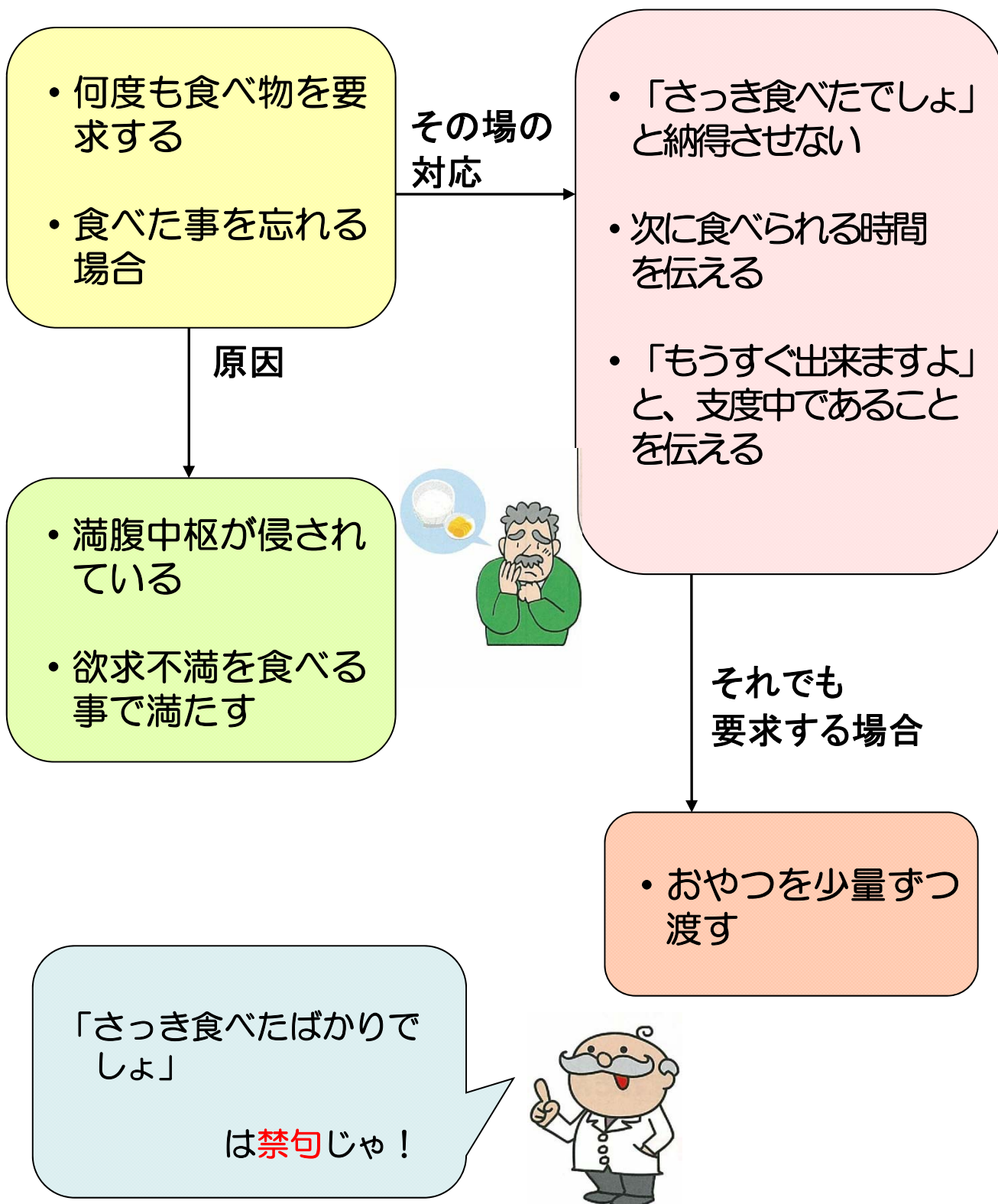
- **物忘れを責めない**
- **認知症の人の意思を受入れる**  
(寛容な対応：否定しない)
- **何を不安に思っているかを知り、解消に努める**
- **その人の持っている能力を奪わない**  
(引き出す)
- **生活環境の整備** (暮らしやすい工夫など)
- **簡潔な情報伝達をする**
- **ストレスの軽減をはかる**
- **閉じこもりにならず、人と関わりをもたせる**  
(孤独にしない)

などが大切なんじゃ。全てを完璧に実行するのは難しいかもしれないが、できることからやってみることじゃな。



# 物忘れ

## 食べた事を忘れる



# 妄想

## 「財布を盗まれた」という

- 財布などをしまい忘れて身近な人を疑う場合



基本的対応

- 自分が疑われても興奮して言い返したりしない
- 自分の気持ちを落ち着かせて、なくした本人が困っているのだと受け止めましょう

具体的対応

- お茶を飲ませたりして関心をそらす
- 一緒に探し、お年寄りが自分で見つけた形にさせる
- 探してもないことが分かっている物、毎回時間がかかる場合は別の代替品を用意し、渡して納得させる

繰り返される場合

- 「冗談じゃないわ。私が盗る訳ないでしょ」
- 「ちゃんと探したの？」
- 「自分で隠したんじゃないの？」
- 「どこかにしまい忘れたんじゃないの？」

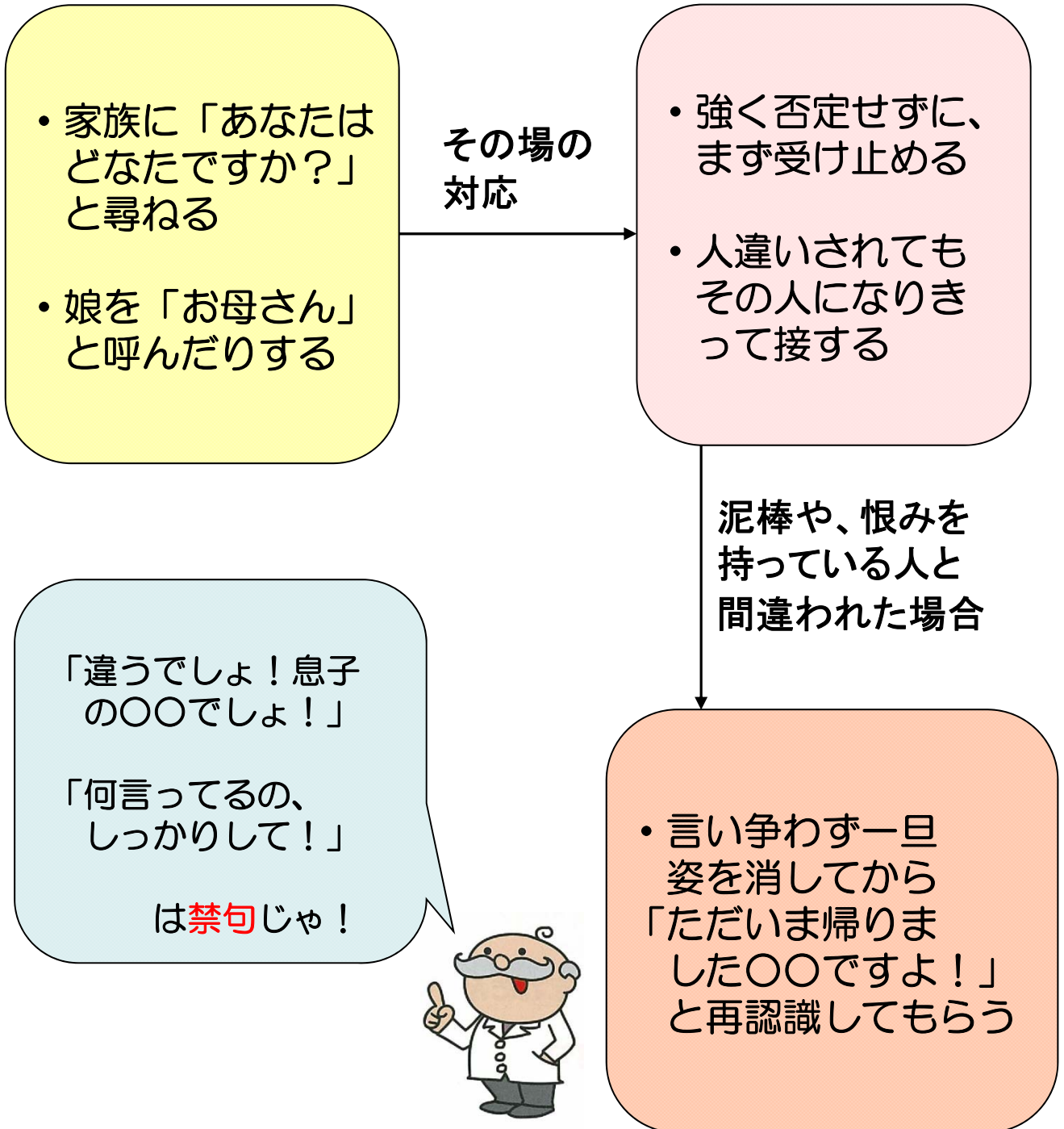
は**禁句**じゃ！



- 財布などは最小限の小銭をお年寄りが持ち、後は家族が預かる
- 入れる場所を決めておく
- よくしまう場所の見当をつけておく

# 人物誤認

## 家族の顔を忘れる





# 幻覚

存在しないものが見えたり聞こえたりする

- 夕方や夜間、天気の悪い時、昼寝後、体調の悪い時、実際にはないものが見えたり聞こえたりする



その場の対応

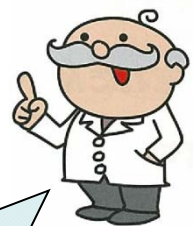
- 訴えを受け止める（本人には見えたり、聞こえたりしているので否定しない）
- 話のつじつまを合わせる
- 嫌がっているものが見える様なら、「一緒に退治しましょう」と追い払ったり、片付ける格好をする

おさまってから（普段から）の対応

- 照明の工夫で部屋を明るくする
- 幻覚を誘発しているもの（壁のしみなど）があれば取り除く
- 視力、聴力の障害があれば調整する

「そんなもの見える（聞こえる）わけないでしょ」

は禁句じゃ！



# 夕方症候群

## 家に帰りたいがる

- 夕方などに落ち着かなくなり、「家に帰りたい」と訴える

具体的  
対応

- 「お茶を飲んでから帰りましょうか」「後で送って行きますよ」と落ち着かせる

原因

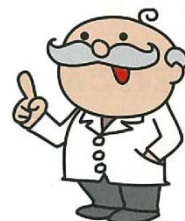


- 夕暮れ時は不安感が増す
- 昔の生活へ戻りたいという願望から

- 一緒に散歩に出かけ、家の周りを歩いて要求を満たし、別の事に気を向かせる
- 「もう一晩泊まって行って下さい」と、思いとどまらせる

「何言ってるの、ここが家でしょ」  
「一人でどこへ帰るつもり？」  
は**禁句**じゃ！

ちなみに、夕方症候群が徘徊の原因になる事もあるんじゃぞ。



# 徘徊（原因と対応）

## 道に迷う、当てもなく歩き回る

- 行きつけの所や散歩に行き迷子になる
- 慣れない場所で迷子になる
- 特定の場所（実家、公園、美容院、昔の職場など）に行きたがる
- 家族の不在時に外出し、迷子になる
- 突然出て行く
- 興奮などから外に出る

### 具体的対応

- 声をかけ、他に関心に向けさせる
- 玄関に外出を思いとどまらせる様な文面の張り紙をする
- 時間を決めて散歩に出したり、折をみて行きたがる場所へ連れていく
- やむを得ない場合は、広い空間を確保して鍵をかける（玄関、門）

### 外に出た場合

- チャイムなどによって出て行くのをキャッチする
- ついて歩く（ご近所を一回りする）
- ご近所の苦情対策、地域（交番、お店）への協力要請をする





# 徘徊

## (探し出すための工夫)

道に迷う、当てもなく歩き回る

- 迷子札を使用し、万ーに備える

具体的  
対応

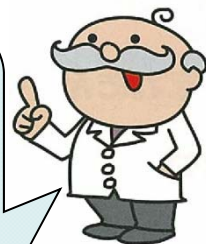
- 衣服に縫い付ける
- 名刺を作ってポケットやバッグに入れたり、ペンダントにする
- 衣服にマジックで書き込む
- 通行人が目につくようなマークを着用させる

- 近所の人やよく行くお店に、気をつけてもらうように協力をお願いする
- 行き場所の見当がつけばそこを探す
- 近所や心当たりを探して見つからない場合、保護願いを出す
- 探索装置を利用する



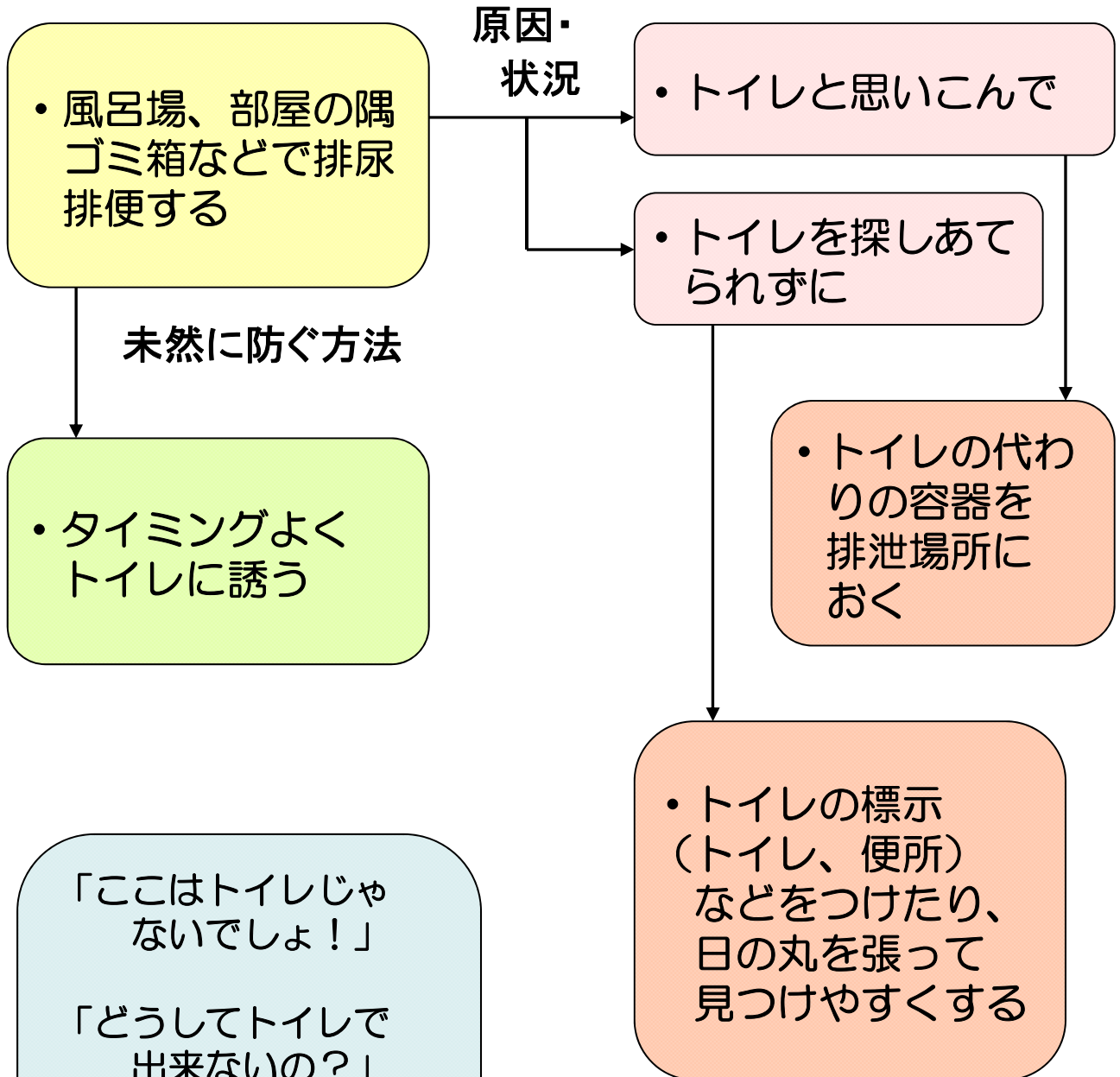
「出ちゃだめ！」  
「早く家に入って！」

は禁句じゃ！



# 失禁

## トイレではない場所で



「ここはトイレじゃないでしょ！」  
「どうしてトイレで出来ないの？」  
「しっかりしてよ！」  
は**禁句**じゃ！



# 失禁 おもらし

- 汚した下着の上から新しい下着をはく
- 汚した下着を脱がない

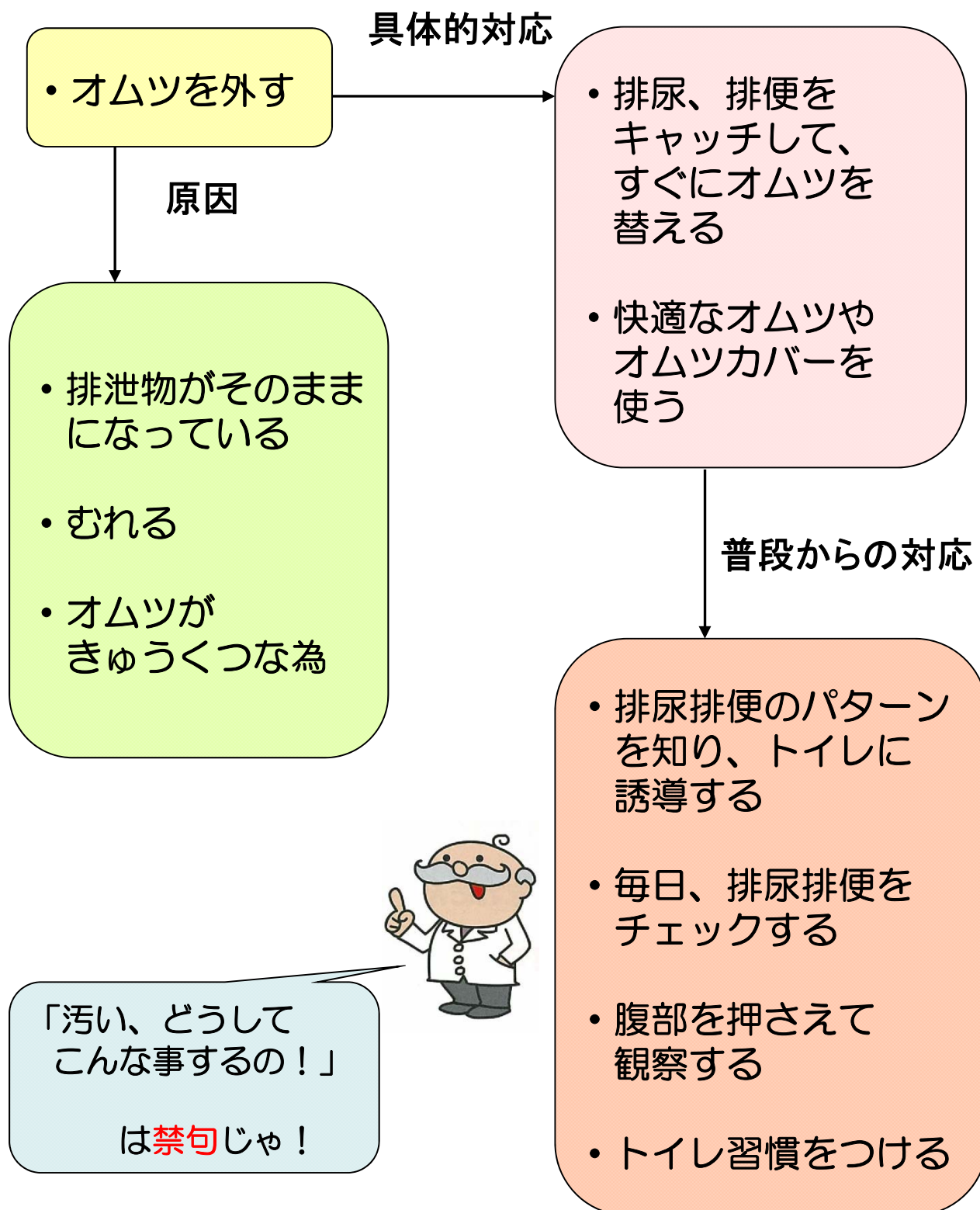
- オムツを嫌がってさせない

- 排尿パターンを把握し、タイミングよく誘導する
- 抵抗感のないオムツを着用させる（パンツの様に使えるもので、T字帯式など）

- 「汗をかいたから着替えましょう」と気持ちを傷つけないようにして脱がせる
- 入浴時には脱いだ下着をすぐに片づけ、新しいものに替える
- オムツ組み入れパンツを使う
- 後ろ開きオムツカバーなどで、本人の気持ちを傷つけないように、交換する



# 不潔行為 オムツを外す





# 認知症の方への接し方！

～ 接し方次第で症状が改善することもある ～

例) 認知症になり、失敗ばかりするようになった。

